

## 神様のみ心が行われますように

### ～マリア様の月～

5月は世界中のカトリック教会でマリア様の月として特別にお祝いします。なぜ特別にお祝いをするのかというと、大天使ガブリエルが神のみ使いとしてマリア様に「あなたは神の子を宿すでしょう。」と告げたとき、マリア様は戸惑いながらも「神様のみ心が行われますように。」と答え、ガブリエルの言葉を受け入れました。もし、そこでマリア様が断っていたら、イエス様が生まれる事はなかったでしょう。つまり人間は神様の計画に参加する事が出来るということであらわしています。そして、人間が神の子キリストを生んだという事実は、今日まで「私たち人間は神様と共に善い世界を作り続ける事が出来る」という希望となっています。ですから、神様の呼びかけに応えたマリア様に対して私たちはどんなに尊敬を込めても足りないくらいなのです。

ひまわり幼稚園では今月の終わりに園庭で『聖母行列』を行います。マリア様の画像を子どもたちが担いで、聖歌を歌いながら園庭を回り、そして花束を捧げます。子どもたちがマリア様のように神様の声に耳を傾けて生きてゆく事が出来ますように。

園長 福崎



## 春の遠足で平川動物公園へ行きました！

良いお天気に恵まれ楽しい春の遠足を行うことができました。園では、より関心を持って動物を見ることができるよう、お帰りの保育などで動物の歌や絵本を紹介などしてきました。実際子どもたちは「モルモットは、抱っこしたら温かかったよ！」「キリンは、首だけじゃなくて、足も長かったよ！」などと動物を見た感想を嬉しそうに詳しく話してくれました。保護者の皆様には、暑い中、長時間のレクリエーションにご参加いただき、ありがとうございました。くらら組では、貨物列車やボール運びリレー、爆弾ゲームなどを行いました。その中でも、子どもたちはくらら組全員で手をつないで行った「なべなべそこぬけ」が楽しかったようで、後日、園でも子どもたち同士、遊んでいる姿が見られます。子どもたちをはじめお母様方やお父様方、祖父母の皆様のおかげでたくさん笑顔を見ることのできた一日でした。ありがとうございました。

くらら組担任 浅井



## ながよしぐみ

5月から新入園児さんも増えてきました。最初は不安そうに来ていた子どもたちも最近ではブラレールをみんなですつなげて遊んでいます。おままごと遊びでは、お父さん役、お母さん役、お兄さん役、お姉さん役など役割分担もあり、お料理ごっこも楽しんで過ごしています。

上野 多恵子先生



### ～愛着と分離～

靴箱の所で、「お家に帰る～」「ママがいい！」って泣いていた子どもたちも1か月たつと、自分のクラスの中で過ごす時間が長くなり、気の合う友だちと出会い、一緒に遊んだり、お仕事をやる姿も見られるようになりました。親は、泣いている我が子を先生に預ける時、胸が締めつけられ「大丈夫かしら？」と不安になると思います。幼稚園は、今までの家庭の中で愛着の敏感期を十分に過ごした子どもが自立して生活する場所です。子どもたちが自分の世界を広げて先生やお友達と活動していくには大好きなお母さんと離れる事も大切です。時に後戻りしてお母さんの胸に抱きつく日もあるでしょう。その時は、ぎゅっと抱きしめて下さい。

5月はマリア様の月です。マリア様はイエス様のお母様、全世界のお母様です。慈愛と信頼を持って、イエス様をお育てになりました。私達も、子ども達がこれから先の人生を心豊かに歩いていける様に見守ってあげましょう。

\* 愛着とは、親あるいはそれに代わる人との間に、日々のお世話を通して形成される「情緒的なきずな」です。愛着関係が形成された子どもは、1歳半くらいになると、自我が芽生え家族以外の人と関わるようになります。その事を母子分離といいます。母子分離をしているいろいろな人と関わりをもつ事で子どもの世界は、広がっていきます。

主任 福留



新入園児も早2か月が過ぎようとしています。園やお友達にもそろそろ慣れた頃だと思えます。なかよしでは、5月に入り新入園児の利用が少しずつ増えてきているようです。AさんがCさんのトイレ誘導やお世話係に頑張ってくれています。晴れた日は園庭で元気いっぱい遊具を使ってみんな仲良く遊んでいます。

久保 ひとみ先生



## Aぐみ

「先生おはようございます。」丁寧な御挨拶で部屋に入ってくるA組さんたち、少々緊張気味です。待ちに待った憧れの部屋、そして違うクラスのお友だち、いつもとは少し変わった表情の姿がみえています。

Aの部屋では、10時30分になるとお集まりをします。今週は、「自然の中の匂い」をテーマに、園庭でいろいろな花や草木の匂いを探しました。花や葉っぱに顔を近づけて匂いを嗅いで「う～ん、いい匂い！」「これも匂いがある！」優しい表情を浮かべている子どもたち。また、アゲハチョウの幼虫も見つけて、敵か身を守る為に出す臭いも嗅ぐことができました。そして、ハーブを摘んでハーブティーにして飲み「エッ！葉っぱが飲めるの？」思わぬティーパーティーに嬉しそうなお子どもたちでした。

お茶の色を見て、匂いを嗅いで、そしてお口へ…

「ああ、おいしい！」「苦い！」「歯磨き粉を飲んでみたい！」

“五感をフルに使って自然を感じとる”

自然に触れる中で、幼児期に大切にしたいことです。このような、身近な場所での体験から、驚きや発見、楽しさを味わうことができますように…

Aの部屋 藤田



## ★モンテッソーリ教具って何？★ Vol.2

### ピンクタワー

ピンクタワーは、その名のとおり、ピンク色の10個の木製の立方体からなります。立方体の各辺は最大が10cmあり、次第に9cm、8cm…最少のものは1cmとなり、視覚で立方体の大きさとその漸次性(ぜんじせい)を識別することが目的です。この大きさの異なる立方体を大きい順に積んでいくのがお仕事です。「一番大きいのはどれかな」「次に小さいのは…」と、目で一生懸命探す子どもたち。積み時に落とさないように、ずらさないように集中するその目は真剣そのものです。積み上げたあとの「わあ、キレイ～！」積み感覚でお仕事できる教具です。

